

| 分野1 | 一人ひとりが個性を<sup>い</sup>活かし安心して働けるまち

## 産業・仕事



**暮** らしの安心や地域への活力をもたらす働く場の確保は、住民の皆さんの強い願いです。地域の暮らしを支えてきた織物業や、安心安全で豊かな食を支えてきた農業以外にも、地域資源に新たな価値を見出し、起業や事業拡大に取り組む新たな挑戦も生まれてきています。時代に合わせて「変化すること」、培ってきた知恵・技・資源を最大限に活用し互いに共創しながら変化に「挑戦すること」、そして、それをまちのみんなで「応援すること」で人財を育み、「一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち」をめざします。

基本  
施策

- 挑戦が生まれる風土づくり
- 農林業の振興
- 織物業の振興
- 商工業の振興
- 魅力ある働く場の創出

| 分野2 | 地元を誇りに<sup>おも</sup>想い人の流れを生むまち

## 観光・交流・移住定住



**こ** のまちで暮らす人々が地元の魅力を認識し、愛し、誇りに思うことによって、「訪れたい」「住んでみたい」まちとして、人の流れが生み出され、まちを離れた人も故郷を想うことにつながります。人の流れは来訪者と住民との交流を増やし、与謝野町ならではのおもてなしが「つながりの輪」を広げていきます。そういった関係人口を世界中に多く生み出し、移住者やU・Iターン者が増え、まちがにぎやかで活気あふれるよう、「地元を誇りに想い人の流れを生むまち」をめざします。

基本  
施策

- ファンづくりの推進
- まちの魅力を活かした観光振興
- まちの魅力を活かした移住・定住の促進

## | 分野3 | みんなが自分らしく幸せに生きるまち

## 健康・福祉



**自** 分らしく生きるためには、心と体の健康が大切です。しかしながら、核家族や単身世帯の増加、コロナ禍などの影響を受け、人や地域とのつながりが希薄になっており、多様化する心の悩みや不安を和らげる「心のよりどころ」が求められています。心と体が健康であれば、暮らしの質を維持・向上できるだけでなく、人を思いやる余裕が持て、多様性を受け入れること・人とつながること・誰かを助けることもでき、まちの元気にもつながります。まずは一人ひとりが心身ともに健康になり、地域とつながることで、「みんなが自分らしく幸せに生きるまち」をめざします。

基本  
施策

- 健康・福祉を支える人財の育成と確保
- 元気な体づくりの推進
- 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進

特集  
2

## 第2次与謝野町総合計画後期基本計画

## みんなでつくりあげた総合計画

平成30年3月に策定した「第2次与謝野町総合計画」の前期基本計画の計画期間が令和4年度末に終了することから、新たに令和5年度から8年度までの4年間を計画期間とする後期基本計画を令和5年3月に策定しました。今月号は、多くの方との協働により策定した計画について、分野別の方針と基本施策を中心にお伝えします。

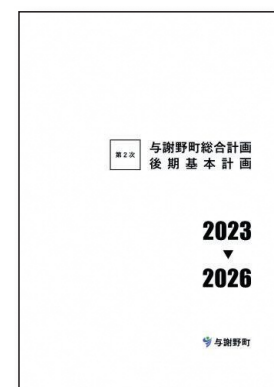
企画財政課 ☎ 43-9015

## まちづくりの羅針盤

総合計画は、与謝野町のまちづくりの指針となる最上位の計画です。今回策定した後期基本計画は、基本構想に示す町の未来像「人・自然・伝統・与謝野で織りなす新たな未来」の実現に向け、具体的な施策やめざすべき指標などを明らかにし、計画的な行政運営を行うための方針とするとともに、個別に作成される諸計画の基本となるものです。

## まちの未来をみんなで描く

まちづくりの基本理念として掲げる「みんな」「みらい」「みえる」を踏まえ、策定にあたっては、「まちの未来をみんなで描く」ことを方針に進めました。よさのみらい会議やまちづ



くりアンケートなどにより、延べ1000人の住民の皆さんが計画づくりに参画。与謝野町総合計画審議会（以下、「審議会」）での審議、行政内部での協議を経て作成された計画案は、令和5年3月定例会で議決いただきました。

## 後期基本計画の特長

後期基本計画では、計画期間内に重点的に取り組む施策や分野を横断する施策を「重点プロジェクト」として位置付け推進することとしています。

また、各分野の基本施策ごとに、施策の進捗を見る指標設定や、SDGs（持続可能な開発目標）との関連付を行ったほか、予算・決算と連動した実効性ある計画とするため、実施計画も定めました。

指標やSDGsとの関連、実施計画は、町ホームページをご覧ください





## 分野6 | 美しくて住みやすい安心安全なまち

## 環境・暮らし



このまちならではの風景を作り出し、人々の暮らしや産業の基盤となる豊かな自然環境を未来の世代につないでいくためには、生活の身近なところから、地球にやさしい環境づくりへとつながる行動をとる必要があります。

また、誰にとっても快適で暮らしやすいまちであるためには、道路、水道などの生活基盤や森林の維持・整備のほか、空き家の有効活用も重要となります。さらに、近年増加している自然災害や犯罪被害への対応などにも取り組み、「美しくて住みやすい安心安全なまち」をめざします。

基本  
施策

- 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり
- 安心安全に暮らせる地域づくり
- 快適で暮らしやすい生活環境づくり

## 分野7 | 住民が主人公となるまち

## 地域協働・行財政運営



人口減少や少子高齢化は、人と人のつながりを希薄なものにし、地域を支える人財不足や公共サービスの縮小などをもたらす可能性があります。そういった中、誰もが安心して暮らせるまちであるためには、一人ひとりがまちづくりへの当事者意識や郷土愛を持ち、いきいきと輝くことが重要となります。

自らの地域は自ら治める地域力の高いまちを創り上げていく意識や世代や地域を超えた人とのつながりを持ち、住民と行政が力を合わせるなど、多様な主体が連携・協働し、「住民が主人公となるまち」をめざします。

基本  
施策

- 多様な主体による協働のまちづくりの推進
- みんなが互いに認め合う風土づくり
- 未来を見据えた行財政運営
- 見える・聞こえる・言えるまちづくり

## 分野4 | つなかりで笑顔を未来につむぐまち

## 子ども・子育て



ま ちの宝である子どもたちを大切に育て、笑顔をつないでいくために、世代を超えたつながりを大切にし、家族・地域・社会・行政が手を携え、互いに頼ること、頼られることのできる関係を築くことが大切です。また、安心して結婚・出産・子育てできる環境や、子どもたちが心も体も健やかに成長できる環境づくりも欠かせません。

将来、まちのみんなに愛されながら育った子どもたちが、このまちで結婚・出産・子育てをして未来の世代へ笑顔をつないでいきたいと思える「つなかりで笑顔を未来につむぐまち」をめざします。

基本  
施策

- 新たな命の誕生を応援
- 親子の笑顔の暮らしを応援
- 地域ぐるみの子育て力の向上

## 分野5 | 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

## 教育・スポーツ・文化



今 も昔も、まちづくりの原点は人づくりです。先人の意志を引き継ぎ、一人ひとりの人権を尊重し、多様な個性に光をあててきた学校教育を、より地域に開かれたものにしていかなければなりません。さらに、誇りある歴史や文化の継承を通じて、感性や慈しみの精神を育み、主体的に課題を解決し未来を拓くことのできる人財に、必要な基礎を培う魅力ある教育の推進が大切です。

自ら学び続ける力と故郷を想い続ける心を併せ持つ人財を育成し、「魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち」をめざします。

基本  
施策

- 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成
- 一人ひとりを大切にする環境づくり
- 生涯学習社会の実現と人権教育の推進
- 生涯スポーツ社会の実現
- 文化財の継承と活用

## 重点プロジェクト

後期基本計画では、7つの分野別計画に加え、それらを横断し重点的に取り組むべき施策を「重点プロジェクト」と位置づけ、推進していきます。

重点プロジェクトは、よさの미래会議やまちづくりアンケートなどから、審議会において分野を横断する共通課題・住民ニーズとして抽出したもので、それらに定める取り組みとして2つのプロジェクトが提案されました。

また、令和2年3月に策定した「第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略」の各施策は後期基本計画に包含し、地方創生をいっそう推進していきます。

Project 1  
よさの미래会議

計画策定の過程で進めてきたタウンミーティング「よさの미래会議」を深化・発展させ、住民の意見聴取にとどまらず、まちづくりの担い手が生まれ、育まれたり、また実践者同士がつながることのできる「場づくり」を行います。

Project 2  
まちの魅力  
発信・応援

住民・事業者・行政が一体となり、このまちに住む人々の持つまちへの愛着や誇り、地域資源の魅力などの発信を強化するとともに、地域で取り組まれるさまざまな活動を応援する仕組みづくりを行います。

Project 3  
地方創生

人口減少社会における持続可能なまちづくりを実現するための計画「第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略」を後期基本計画に包含し、地方創生をいっそう推進していきます。